

萩原実咲先生のお薦め本 『大谷英語』 太刀川正樹

「ことば」を学ぶ際に一番効果的な方法ってなんだろうって思うことありませんか？ 英語を学んでいる皆さんもそう思うことありませんか？ えっ、「日本語と違いすぎてもう嫌だ！断固拒否！！」ですか？ そういう人も、もしかしたらいるかもしれません…

しかし、私はこの方法をお勧めしたいと思います！ それは『よりリアルな「ことば」にも触れてみる♪』です。いやいやより難しいわと思うかもしれませんが、案外興味深くなっていくかもしれません。ということで！ 最近、皆さんの周りでよく聞くリアルな英語ってなんですか？ 私は連日ニュースを見ていると彼を見ない日がないのではと思うくらい人気者に関する英語をよく聞きます。そうです、野球選手の大谷翔平選手にまつわる英語です。例えば、彼を表現する際に“G.O.A.T (Great Of All Time: 至上最高の)”ということばがよく使われます。彼を表現するために使われている英語というのは私たちが普段学校で学ぶ表現もあれば、そんなふう言うんだ！？とネイティブならではのかわいい表現や中には大谷選手だからこそ使える表現もあります。しかし、皆さんが知っているような単語でも、こんな使い方ができるんだ！！と学ぶことができる1冊になっています。このようにリアルな「ことば」に触れることを通して私たちは「ことば」により興味を持つきっかけとなります。

そしてそのきっかけから私たちが知らなかった広い世界に繋がっていくのかなとも思います。こちらの1冊を通して少しでも皆さんがリアルな英語を学ぶことで、「ことば」に興味を持って、より広い世界に繋がっていってくれれば嬉しいです。

それでは！ 最後にこの本から学んで印象に残っているこの表現で締めたいと思います。

“Let’s move heaven and earth
to enjoy your school life!”



❀ かわいほん大賞 ❀

日販図書館選書センター（小中学校児童・生徒向けの選書施設）は先月、今年の「かわいほん大賞」の結果を発表しました。各部門の第1位は

ぞわぞわ部門＝『鬼遊び 鬼よぶわらべ歌』廣嶋玲子

びくっ部門 ＝『いるの いないの』京極夏彦

どろどろ部門＝『変な家』雨穴

どれも1度読んだらわすれられないようなかわい本です！



❀ ≪新刊≫のおすすめ本❀

『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』かまど
作者には「みくのしん」（本名です）という10年来の友人がいます。とてもユニークな人物ですが（どうユニークかは本を読んでください）なんと人生で1度も本を読んだことがありません。「そんな男が読書をしたらどうなる？」と思いついた作者は彼に「走れメロス」を読ませます。作者いわく「そこには僕が予想もしなかった世界が広がっていました」。その様子をまとめたレポート記事



はインターネット上で爆発的に拡散されてなんと百万人が読み、ついにこの本ができました。教科書にのるような名作から雨穴の短編まで、ユニークな読書のようすをごらんください。

🍃 絵本 🍃

『おこだでませんように』くすのきしげのり

幼い頃、悪いことをしたおぼえはないのにしかられたことはありませんか？
「ぼくは いつも おこられる。いえでも がっこうでも おこられる」と悩む男の子は何をしたのでしょうか？ 結果は？

